

茨城県筑西市立中小学校 (学校長 石島 悦男)

実施日	平成20年1月29日(火)	時間	午前9時40分～午後1時05分
実施場所	音楽室、視聴覚室、図書室、教室	対象/人数	6年生46名
担当教諭	市村 要、横関 正俊	ファシリテーター	山田 美代子
講師	田中 アルバ(ニカラグア) 周 悦(中国・留学生) 金 成五(韓国) ジェームズ・モリアン(イギリス)		

活動内容

それぞれの国紹介・日本の印象・民族衣装の試着体験・こどもの遊び
ふれあい給食

児童の感想

・私は、「韓国」と「ニカラグア」の人たちと交流をしました。韓国の金成五先生は、始まった瞬間に「チャング」という韓国のたいこをたたきながら、いきなり歌い出したのでびっくりしました。その後のお話の中で、「韓国の人は昔からキムチを食べているから、虫歯がない。キムチは虫歯予防になる。」と聞いてすごいなあと思いました。

・ニカラグアの田中アルバ先生は、「ジャック」というスーパーボールみたいなものを使って遊ぶものを教えてくださいました。一緒にやってみたらとても楽しかったです。今度は、他のいろいろな国の人たちとも交流してみたいと思いました。

先生の感想

・4名の外国人講師の方から、それぞれの国を紹介する写真や資料等を用意していただいたり、自国の衣装で交流をしていただいたりした。児童は、自分が交流する国については本やインターネットを使って調べ学習をしたが、直接外国の方からお話を聞き、改めて外国の生活や文化に興味をもつことができたようである。

・また、それぞれの国の遊びや踊りを一緒に行い、ふれあいも深めることができた。短い時間ではあったが普段できない貴重な体験をすることができ、有意義な時間となった。ファシリテーターの方にも細かなところまで気を使っただきありがたかった。ぜひ、来年度も実施したいと考えている。

成果と課題

・インターネットや資料から外国を調べるのには限りがある。実際に外国の方からお話を聞き、そ

の国の生の様子を知ることができたことは大きな成果だった。今後も児童がいろいろな国々に興味をもち、進んで調べていけるように配慮していきたい。課題としては、地域に住む外国の方々に気軽な気持ちで学校に来ていただき、交流する機会をもつことが望ましいが、今の学校の現状を考えるとそれもなかなか難しい当協会のような組織を通して実施できるのは大変ありがたい。

